

平成22年4月28日現在

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2007～2010

課題番号：19330129

研究課題名（和文）：緩和ケアにおける「生」重視のソーシャルワーカーの支援機能に関する実証的研究

研究課題名（英文）： An Empirical Research on opportunities to the delivery of person's-live-centred support/care by frontline social workers at palliative care unit

研究代表者：北川慶子（KITAGAWA KEIKO）

佐賀大学・文化教育学部・教授

研究者番号：00128977

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：社会学・社会福祉学（3802）

キーワード：緩和ケア、ソーシャルワーカー

1. 研究計画の概要

本研究では、緩和ケアにおけるソーシャルワークに関する国内外の先行研究レビューを行い、緩和ケアソーシャルワークの今日的課題を整理した上で、緩和ケア施設におけるソーシャルワーカーの支援機能を明確にすることを目的とした質的研究である。これまでの研究蓄積により、「生きる」こと、生活を重視した緩和ケアにおいて死後の準備としての生前契約の可能性について探ることも本研究の課題である。

2. 研究の進捗状況

2009年度までに計画通りの先行研究レビューと調査研究が進行している。特に文献研究により、緩和ケアにおけるSWの不明瞭な専門性により終末期の患者・家族への支援機能を十分に果たせていない状況が明らかとなった。SWに対する調査により、緩和ケア現場でのSWの役割機能のあいまいさの表出をつかんだ。

海外における緩和ケアでのSWのケアチーム内での役割についての研究も進行中であり、緩和ケア患者・家族に対する生前契約の機能についての国内・国外の意識の差異を捉えることができつつある。

3. 現在までの達成度

本研究は、おおむね順調に進展している。先行研究レビューを持続しつつ、実証的データを蓄積している。緩和ケア施設のSWへの聞き取り調査を実施・質的分析の進行中で、

緩和ケアチーム内でのSWの役割の検討を実施する。

4. 今後の研究の推進方策

質的分析を継続し、緩和ケアにおけるソーシャルワーカーの役割とその機能を検討する。SWが「死」に携わる意義と緩和ケアにおける「生」重視のソーシャルワークに関する研究の深化を図る。

5. 代表的な研究成果（計16件）

〔雑誌論文〕

①滝口真・兼信憲吾・古賀俊彦、「ソーシャルワークの教育機能における価値・倫理観についての一考察」、キリスト教社会福祉学研究、第42号、日本キリスト教社会福祉学会、125-134。（2010年）査読有

②井田圭亮、倉田康路、「高齢者福祉サービスにおける事故予防対策に関する一考察」。西九州大学・健康福祉学部紀要、第40号、西九州大学健康福祉学部、27-36、（2010年）。査読無

③北川慶子、橋本芳、寺町清志「高齢期の自立生活に組み込む葬送の生前契約」佐賀大学文化教育学部研究論文集第13集第2号。

（2009年）査読無

④花島正晃・滝口真・兼信憲吾、「社会福祉

士養成における相談援助実習についての一考察－専修学校教育を中心として－」,九州社会福祉研究,第34号,西九州大学,83-99.

(2009年) 査読無

⑤橋本芳・北川慶子「台湾都市部における葬儀風習と葬儀の生前契約の有用性の検討」佐賀大学文化教育学部論文集第14集第1号

(2009年) 査読無

⑥橋本芳・北川慶子・武田淳「高齢期の自己実現と生前契約－」民族衛生第75巻第4号; 131-142 (2009年) 査読有

⑦橋本芳・北川慶子・武田淳「生前契約の必要性に関する世代間格差」東洋大学九州社会福祉学第1巻 (2009年) 査読有

⑧滝口真,「キリスト教社会福祉の独自性と使命に関する考察(1)」. 日本キリスト教社会福祉学会第50回記念大会,(於:ルーテル学院大学). (2009年)

⑨山田美保 「ターミナルケアにおける「医療・看護・福祉」連携の課題～お互い何を求め、何ができるのか～社会福祉学の立場から」日本看護福祉学会(西九州大学)(2008年)

⑩北川慶子「高齢期の生活変化と自立生活のあり方-葬送の生前契約研究から-」『文化における老い』輔仁大学. 269-280 (2008年)

⑪橋本芳、北川慶子、武田淳「人口高齢化が進行した地域の女性と生前契約の必要性に関する研究」九州地区国立大学間連携リポジトリ部会研究論文集－教育系・文系の九州地区国立大学間連携論文集－ Vol.2 no.1.

(2008年) 査読有

⑫滝口真,「ソーシャルワークにおけるキリスト教福祉の意義について－聖書に基づく人間観とスピリチュアリティの視点より－」,日本看護福祉学会誌,第13巻1号,日本看護福祉学会,33-43,(2007年) 査読有.

⑬倉田康路,「福祉施設従事者のサービス計

画に対する価値づけ－高齢者福祉施設従事者の場合－」,九州社会福祉学第3号,日本社会福祉学会九州部会,1-10 (2007年) 査読有.

⑭北川慶子「高齢期と葬送の生前契約」佐賀大学文化教育学部研究論文集第11集第2号. 査読無. (2007年)

⑮張模韓、北川慶子「死前契約に関する研究」『日本問題研究』明知大学校日本問題研究所(韓国) 査読無・依頼論文 21-33 (2007年)

[学会発表] (計11件)

①滝口真,「キリスト教社会福祉の独自性に関する一考察」日本社会福祉実践理論学会第25回大会,(於:関西学院大学). (2008年).

[図書] (計8件)

①北川慶子「ケアハウス」小室豊充(編集代表)『高齢者施設用語事典』中央法規出版 63-66. (2007年)

[産業財産権]

○出願状況 (計 0 件)

○取得状況 (計 0 件)

[その他]